

食物として

芥川龍之介

青空文庫

かなぎは 方言ほうげんによれば「うまさうな」と云ふのは「肥ふとつた」と云ふことである。例へば肥ふとつた人を見ると、あの人はうまさうな人だなども云ふらしい。この方言は一寸食人種ちよつとの使ちふ言葉ことばじみてゐて愉快である。

僕わがはこの方ほう言げんを思おもひ出ですたたびに、自然しぜんと僕わがの友とも達たちを食しょく物もつとして、見るやうになつてゐる。

里見さとみ弼とん君きんなどは皮かわ造つくりの刺さ身しみにしたらば、きつと、うまいのに違ちがひない。菊池きくち君きんも、あの鼻はななどを椎し茸ひたけと一いっ緒しょに煮にてくへば、脂あぶらぎつてゐて、うまいだらう。谷崎たにざき潤じゆん一いち

郎らう君きんは西洋酒せいやうしゆで煮にてくへば飛とび切きりに、うまいことは確たしかである。

北原きたはら白秋はくしゆ君きんのビフテキも、やはり、うまいのに違ちがひない。宇野浩二うのかうじ君きんが口オスト・ビフに適あしてゐることは、前まへにも何かの次手ついでに書かいておいた。佐佐木茂索ささきもさく君きんは串くしに通として、白しろやきにするのに適あしてゐる。

室生犀星むろふさいせい君きんはこれは——今僕いまわがの前まへに坐まつてゐるから、甚あひすだ相濟あひすまない気がするけれども——干物ひものにして食くふより仕方かたがない。然しかし、室生君むろふさいせいは、さだめしこの室生君むろふさいせい自身の干物ひものを珍ちんちやう重ちゆうして食くべることだらう。

(昭和二年四月)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたってのは、ボランティアの皆さんです。

食物として

芥川龍之介

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>